

## 県立高校の特色化・魅力化（県外募集）の取組について

平成 30 年 1 月 16 日

高等学校課

## 1 背景

近年、中山間地域の児童・生徒数の減少等により、入学者が募集定員に満たない学校があるという現状を県教育委員会として認識し、魅力と活力ある学校づくりに取り組むとともに、入学者数の確保に努めていくことが必要である。

学校裁量予算独自事業等を活用した各学校独自の特色化・魅力化に加え、平成 28 年度入学者選抜からは、推薦入試における県外生徒募集を実施しており、県外から目標を持った生徒の入学により、学校のより一層の活性化を図ることとしている。

また、中山間地域等に所在する高校においては、入学した生徒の育成を期して「地域と連携した学校の特色や魅力づくり」にも力を入れているところであり、地元自治体の協力の下、地域の資源等を学校の教育活動の中で最大限に活用する方策を模索しながら教育活動の中に位置づけて体系的・組織的な取組の展開を進めているところである。

## 2 入学生徒数確保に向けた取組状況

## (1) 県外生徒募集の実施 &lt;別添 2-2&gt;

県外からも目標を持った生徒が入学することで、学校のより一層の活性化を図るため、推薦入試における県外生徒募集を実施（平成 28 年度～）。

○開始年度である平成 28 年度入学者選抜では 4 名、平成 29 年度入学者選抜では 10 名の県外中学生が入学している。

○5 校 11 名で開始し、現在では 8 校 36 名の県外生徒募集枠を設定している。

※平成 30 年度入学者選抜からは、県外生徒募集枠を募集定員の 10% 以内（従来は 5% 以内）に拡大。

○県移住説明会への参加など、県外生徒や保護者向けの PR 活動も強化している

## (2) 学校特色化・魅力化の推進 &lt;別添 2-3&gt;

## ①地域と連携した学校設定科目等の設置

地域を知り、その課題を考えるとともに、解決策を模索する学校設定科目等を導入。

## ②地元自治体との地域連携事業の実施

地元自治体の協力も得ながら、地域資源や地域人材を活用した取組を実施。

## 3 課題

## 県外生徒募集における県外生徒の受入環境整備

○県外募集実施校のうち、寮のある高校は 3 校のみであり、その他の高校では、地域と連携しながら住居の確保に努めるとともに、部活動顧問等が生徒の世話をを行うことで対応しているが、今後、県外生徒募集枠の拡大や積極的な PR を行っていく上で、十分な環境が整っているとは言い難い。

※寮のある学校においても、教員の宿直など負担が大きという課題有。

※隠岐島前高校をはじめ、積極的な県外募集を実施している島根県では、多くの高校が寮を所有している。また、寮室に不足が生じた場合は、地元自治体が受入環境を整備している

&lt;別添 2-4&gt;

#### 4 県外生徒の住居確保に向けた検討

##### (1) これまでの検討（検討中含む）

	検討事項	状況・課題等
1	民間事業者（不動産業者・宅建業協会）の活用	不動産業者6社を訪問 → 今後、民間事業者における可能性の有無を検討予定（既存のシェアハウスの活用、不動産業者に対する県外生徒居住目的とした物件整備の提案等）
2	私立高校の寮活用	倉吉北高校の寮に空部屋有 → 同校と協定を締結し、同校の寮に県外から入学した県立高校生徒が入寮することを協議中
3	県移住定住受入体制整備事業の活用 <b>&lt;別添2-5&gt;</b>	シェアハウスの整備や空き家改修が可能
4	地元自治体と連携した民宿の利用	高校生の面倒を見ることを困難との理由から、受入を承諾した民宿なし → 引き続き、活用可能な民宿等がないか検討
5	県外生徒受入実績のある高校への寮整備	1校当たりの生徒数が少ない現段階では、費用面で難しい → 合宿所の寮改修等を含め引き続き検討
6	廃止となっている県職員住宅を改修した各校共用（地区単位・私立高校も含む）の寮整備	耐震診断等が必要であり、多額の経費が必要 → 民間事業者の活用を優先
7	旅館、ホテルの一室を年間契約（東部地区）	現在、鳥取市内の旅館、ホテルの稼働率は高く、長期契約による安価な賃貸は困難 → 現時点では断念

##### (2) 平成30年度予算要求内容

###### ①受入環境整備に向けた検討会の開催

県外事例（複数校で寮を共有している事例、全寮制としている事例、地元自治体や同窓会が寮を整備している事例等）の視察結果や、これまでの検討状況を踏まえ、鳥取県教育審議会など有識者を交えた場で議論を行い、本県としての県外生徒募集の推進方針や受入環境整備の在り方を検討していく。

###### ②県外優秀アスリート受入支援

県外募集制度を利用して、県外優秀アスリートが本県の県立高校に安心して進学できる体制を整備するため、地元自治体とともに県外生徒に対する助成を行う。

平成25年度以降の県立高校における定員数・生徒数の変遷(全日制課程)

区分	学校名	年度	25	26	27	28	29
東部地区	鳥取東	定員	320	280	280	280	280
		入学者数	321	281	282	283	283
		充足率	100.3%	100.4%	100.7%	101.1%	101.1%
	鳥取西	定員	320	320	320	280	280
		入学者数	320	320	319	283	283
		充足率	100.0%	100.0%	99.7%	101.1%	101.1%
	岩美	定員	114	114	114	114	114
		入学者数	66	75	86	85	58
		充足率	57.9%	65.8%	75.4%	74.6%	50.9%
	八頭	定員	280	280	280	280	280
		入学者数	282	277	274	281	271
		充足率	100.7%	98.9%	97.9%	100.4%	96.8%
鳥取商業	定員	190	190	190	190	190	
	入学者数	192	164	174	193	165	
	充足率	101.1%	86.3%	91.6%	101.6%	86.8%	
鳥取工業	定員	190	190	190	190	190	
	入学者数	185	153	174	161	168	
	充足率	97.4%	80.5%	91.6%	84.7%	88.4%	
鳥取湖陵	定員	190	190	190	190	190	
	入学者数	184	192	163	183	175	
	充足率	96.8%	101.1%	85.8%	96.3%	92.1%	
智頭農林	定員	80	80	80	80	80	
	入学者数	73	55	53	35	45	
	充足率	91.3%	68.8%	66.3%	43.8%	56.3%	
総合	青谷	定員	152	114	114	114	114
	入学者数	95	92	75	46	86	
	充足率	62.5%	80.7%	65.8%	40.4%	75.4%	
小計	定員	1,836	1,758	1,758	1,718	1,718	
	(増減)		▲ 78	0	▲ 40	0	
	入学者数	1,718	1,609	1,600	1,550	1,534	
	(増減)		▲ 109	▲ 9	▲ 50	▲ 16	
	充足率	93.6%	91.5%	91.0%	90.2%	89.3%	

区分	学校名	年度	25	26	27	28	29
西部地区	米子東	定員	320	320	320	320	320
		入学者数	320	320	320	320	320
		充足率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	米子西	定員	320	320	320	320	320
		入学者数	321	319	321	322	321
		充足率	100.3%	99.7%	100.3%	100.6%	100.3%
	境	定員	200	200	200	200	200
		入学者数	200	201	200	202	202
		充足率	100.0%	100.5%	100.0%	101.0%	101.0%
	米子南	定員	152	152	152	152	152
		入学者数	151	152	152	153	145
		充足率	99.3%	100.0%	100.0%	100.7%	95.4%
米子工業	定員	190	190	190	190	190	
	入学者数	173	192	189	190	190	
	充足率	91.1%	101.1%	99.5%	100.0%	100.0%	
境港総合技術	定員	190	190	190	190	190	
	入学者数	174	190	182	189	151	
	充足率	91.6%	100.0%	95.8%	99.5%	79.5%	
米子	定員	152	152	152	152	152	
	入学者数	152	152	152	153	152	
	充足率	100.0%	100.0%	100.0%	100.7%	100.0%	
日野	定員	114	76	76	76	76	
	入学者数	59	62	55	58	44	
	充足率	51.8%	81.6%	72.4%	76.3%	57.9%	
小計	定員	1,638	1,600	1,600	1,600	1,600	
	(増減)		▲ 38	0	0	0	
	入学者数	1,550	1,588	1,571	1,587	1,525	
	(増減)		38	▲ 17	16	▲ 62	
	充足率	94.6%	99.3%	98.2%	99.2%	95.3%	

区分	学校名	年度	25	26	27	28	29
中部地区	倉吉東	定員	200	200	200	200	200
		入学者数	202	200	201	193	201
		充足率	101.0%	100.0%	100.5%	96.5%	100.5%
	倉吉西	定員	160	160	120	120	120
		入学者数	157	153	122	122	120
		充足率	98.1%	95.6%	101.7%	101.7%	100.0%
	鳥取中央育英	定員	160	160	160	160	160
		入学者数	145	160	133	151	153
		充足率	90.6%	100.0%	83.1%	94.4%	95.6%
	倉吉農業	定員	114	114	114	114	114
		入学者数	82	98	109	86	75
		充足率	71.9%	86.0%	95.6%	75.4%	65.8%
倉吉総合産業	定員	190	190	190	152	152	
	入学者数	185	183	187	150	153	
	充足率	97.4%	96.3%	98.4%	98.7%	100.7%	
小計	定員	824	824	784	746	746	
	(増減)		0	▲ 40	▲ 38	0	
	入学者数	771	794	752	702	702	
	(増減)		23	▲ 42	▲ 50	0	
	充足率	93.6%	96.4%	95.9%	94.1%	94.1%	

区分	学校名	年度	25	26	27	28	29
全県	合計	定員	4,298	4,182	4,142	4,064	4,064
		(増減)		▲ 116	▲ 40	▲ 78	0
		入学者数	4,039	3,991	3,923	3,839	3,761
		(増減)		▲ 48	▲ 68	▲ 84	▲ 78
		充足率	94.0%	95.4%	94.7%	94.5%	92.5%

県立高校における県外募集の取組

高等学校課

1 県外生徒募集枠・受検者数・入学者数の推移

高等学校名	小学科 (コース)	募集生徒数	H28			H29			H30
			県外 生徒 募集数	受検 者数	入学 者数	県外 生徒 募集数	受検 者数	入学 者数	県外 生徒 募集数
岩 美	普通	114	—	—	—	3	3	3	5
八 頭	普通(体育)	40	2	3	3	2	1	1	4
智 頭 農 林	ふるさと創造	80	4	1	1	4	4	4	4
	森林科学								
	生活環境								
倉 吉 農 業	生 物	38	1	1	0	1	0	0	2
鳥取中央育英	普通(体育)	40	2	0	0	2	2	2	4
境	普通	200	2	0	0	2	0	0	2
境港総合技術	海 洋	38	—	—	—	—	—	—	2
	食 品 ・ ビジネス	38	—	—	—	—	—	—	2
	機 械	38	—	—	—	—	—	—	2
	電 気 電 子	38	—	—	—	—	—	—	2
	福 祉	38	—	—	—	—	—	—	2
日 野	総合(進学系列)	76	—	—	—	3	0	0	5
		合計	11	5	4	17	10	10	36

2 平成30年度入学者選抜(推薦入試)における県外中学生の出願を認める学科等

学校名	県外中学生の出願を認める学科	県外生徒 募集枠
岩 美	普通学科普通科(ただし、女子バレーボール又は野球の経験者で、入学後には当該部活動に入部し、積極的に活動する生徒)	5人
八 頭	普通学科普通科体育コース(ただし、柔道(男)・剣道(男)・ホッケー(男女)を志願する生徒)	4人
智 頭 農 林	農業学科ふるさと創造科・森林科学科・生活環境科	4人
倉 吉 農 業	農業学科生物科	2人
鳥取中央育英	普通学科普通科体育コース	4人
境	普通学科普通科(入学後は意欲的に運動部活動(陸上・ヨット・ハンドボール・硬式野球及びサッカー)に取り組む生徒)	2人
境港総合技術	水産学科海洋科、水産学科食品・ビジネス科 工業学科機械科、工業学科電気電子科、福祉学科福祉科	10人 (各科2人)
日 野	総合学科(ただし、以下の2つの条件を満たす者) ・ソフトテニスに優れた能力を有する、あるいは射撃、郷土芸能に積極的に取り組む意欲がある生徒。そして、入学後は3年間継続して前述の部活動に所属し、部活動に取り組む意志が強固である者。 ・総合進学系列に進み、将来、大学等の上級学校への進学を目指す者。	5人
合 計		36人

### 3 平成29年度における県外からの生徒の状況等

高等学校名	県外からの生徒人数	寮の有無	住居
岩 美	3名	×	岩美町内の空家【3名】 ※岩美町から月額1万円の助成有
八 頭	4名	×	顧問と同じ八頭町内のアパート【4名】
智 頭 農 林	5名	×	顧問の家の近隣旅館に居住【4名】 母親と下宿【1名】
倉 吉 農 業	0名	○	
鳥 取 中 央 育 英	2名	○	学校寮【1名】、民間寮【1名】
境	0名	×	
境 港 総 合 技 術	—	×	※平成30年度入学者選抜から県外募集開始
日 野	0名	○	※日野町から、入寮生（県内生徒も対象）に対する月額1万円の助成有。

### 4 県外生徒受入に向けた取組状況

#### (1) 広報資料の作成、インターネット等を活用した広報

##### ○県外募集ホームページの作成【平成28年度～】

推薦要件一覧、県外生徒募集用パンフレット（「輝け！夢 県外募集編」）、県移住定住イベント参加予定等を掲載

##### ○パンフレット作成（「輝け！夢 県外募集編」）【平成29年度～】

県外募集実施校の特色や求める生徒像、本県教育の特色等を記載した資料を作成し、関係機関への送付、各種説明会で配布のほかホームページにも掲載。

（平成29年度配布実績）

- ・ 県移住定住相談会での配布
- ・ 広島県及び岡山県での鳥取県人会総会での配布
- ・ ふるさと鳥取ファンクラブへの配布（予定）

#### (2) イベント参加・実施

##### ○県移住定住相談会への参加【平成29年度～】

公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構が企画する大阪での移住定住イベント（9月及び10月）に県教育委員会及び県外募集実施校が参加し、県外募集の取組を周知するとともに、移住定住の際の教育への相談にも対応。

→来年度は、例年6月頃に開催される大規模イベント（東京及び大阪）に参加。

##### ○県外生徒募集高校説明会の開催【平成30年度～】

東京及び大阪で、県外生徒募集に関する県内高校単独の説明会を開催。

→移住定住相談会には、ターゲットとなる中学生（及びその保護者）の参加が少ないことから、高校における県外募集に特化した説明会を開催。

→県立高校だけでなく、県外生徒募集を実施する私立高校にも参加を呼び掛けるとともに、鳥取県産品を試食する取組なども加え、鳥取県の魅力をアピールしながら、県立高校のPRを行う。

## 〈別添2-3〉

### 小規模校における地域連携を中心とした特色ある取組

平成30年1月16日

高等学校課

#### 1 青谷高等学校（地域連携重点校）

##### （1）学校設定科目「青谷学」の設置

目的 青谷地域の歴史、文化、産業を知るとともに地域の課題に気づき、その解決策を考えさせることで、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を育成するとともに、地域に貢献する姿勢及び態度を養う。

内容 ・2年次生（45人）を3グループに編成  
・各グループが年間3テーマについて学習  
テーマ 青谷上寺地遺跡、西因幡の伝統文化、青谷ジオサイト、青谷の漁業、青谷の食 等

##### （2）学校設定科目「地域環境芸術」

目的 芸術の幅広い活動を通して、芸術を愛好する心情を育てるとともに、芸術文化への理解を深め、豊かな情操を養う。また、多角的なものの見方や、考え方に基づく言語表現能力を高める。

内容 芝居づくり・映画づくり →指導者 鳥の劇場  
幕末の石工「川六」について学ぶ→指導者 川六ファンクラブ代表、地元写真家

##### （3）その他

- すくすく保育園との交流（保育ボランティア支援）  
5月から12月にかけて青谷町すくすく保育園へ生徒が土曜日訪問し、土曜保育の補助
- 青谷地域美化活動（H30～）  
日頃世話になっている地域の施設を、草花プランターで装飾

#### 2 岩美高等学校（地域連携重点校）

##### （1）イワッツミッション

- ア 山陰海岸ジオパーク学習
  - ・ジオパーク講座を開催し、ジオパークに関する基礎的知識の習得
  - ・ジオパークの探索等フィールドワーク
- イ グループでの地域課題解決学習

目的 岩美町との積極的な関わりから地域を学び、地域を研究し、地域に貢献する活動の企画・実践を行い、これらの活動を通して社会的・職業的自立に向けた能力や態度を育成するとともに、将来の地域を支える人材を育成する。

内容 クラスを解いてテーマ班を設定し、地域の方にゲストティーチャーとして関わっていただくとともに、各班にTAとして地元大学生を配置し、研究・成果発表を行う。

（テーマ例） 「道の駅を盛り上げよう」…道の駅「きなんせ岩美」でのイベント開催  
「岩美町・花いっぱい運動」…ベンチ等の製作・設置→花壇の庭園化  
「網代地区の活性化」…1日限定高校生レストラン

##### （2）その他

- 「岩井あすなる」における介護体験（福祉類型2年）

○岩美町内清掃活動、岩美町内小中学校児童生徒との交流（茶道同好会、吹奏楽部、バレーボール部）

### 3 智頭農林高等学校（地域連携重点校）

#### （1）ふるさと創造科の設置（H28～）

地域と連携し、地域の資源を活かした特色ある教育を実践し、ふるさとを愛し地域を担う人材を育成するため、平成28年度に「園芸科学科」を改編して設置。

#### （2）学校設定科目「地域基礎」（1年次全員）

目的 地域活動に取り組む団体や福祉・保育施設と連携し、現場での体験を重視した学習を行い、地元地域（智頭町）の現状を理解するとともに、地域を担うさまざまな能力を養う基礎的・基本的な技能・態度を育成する。

内容 智頭町内を、全体像、観光、地域の活動、6次産業化、移住者の視点で視察した上で、地域の発展を考えるグループワークを実施

#### （3）その他

○地域の棚田の保全活動、石積み畦道を修復する活動

○長期就業体験・・・地元関連企業において、年間10回～12回就業体験を行う

○ちのりんショップにおける学校生産品、地域特産品の販売

### 4 日野高等学校（地域連携重点校）

#### （1）寮を活用した学習指導（H30～）

夜間学習：月曜から金曜、夜1時間45分の学習指導

※双葉寮入寮に係る生徒費用への日野町の支援

・寮費補助 一人当たり10千円

・夜間の学習指導に対する支援 必要経費と生徒負担額の差額

#### （2）1年次生必修科目「産業社会と人間」

目的 ・人間関係形成能力の育成、社会形成者意識の醸成

・自己理解の促進、自己の生き方探究

・キャリアプランニング能力の育成

内容 地元事業所訪問、地域人材による社会人講話、フォトオリエンテーリング

#### （3）3年次生「課題研究」

内容 1年次「産業社会と人間」、2年次「職場体験学習」（日野郡内事業所84.6%（H29））での学習を生かして、地域と関連あるテーマで課題を設定し、調査・研究を行う。

H29 テーマ例 「地域の中での子育てサポート」、「空家対策～住みやすい家～」

「たたランチのメニュー開発」 等

#### （4）その他

○鶴の池マラソン参加（1年次全員）、運営ボランティアとしても参加

○日野高ショップにおける学校生産品、地域とのコラボ商品の販売

## &lt;別添2-4&gt;

## 島根県立高等学校における県外募集実施校19校の寮の状況(H29年度)

## 高等学校課

高等学校名	寮定員	補足	入寮者数	島根 留学生 (全学年)	入学定員 (第1学年定員)
安来	20	・安来市から提供されたアパート形式の施設。 ・安来高校と情報科学高校が共有	6	2	160
情報科学				2	120
大東	なし	・生徒数人で共同生活を営むシェアハウス ・下宿	なし	2	120
横田	32		19	19	120
三刀屋	80		21	3	160
飯南	56		47	21	80
邇摩	情報なし				120
島根中央	126	県立の寮 + 町立の寮	120	80	120
矢上	86		79	45	90
江津	なし	下宿	なし	2	80
江津工業	92		9	2	80
浜田商業	なし	アパート	なし	1	80
浜田水産	30	男子寮のみ	28	28	80
益田翔陽	80		23	33	160
吉賀	32	町営の寮	20	15	40
津和野	64		54	55	80
隠岐	32		12	11	90
隠岐島前	92		85	74	80
隠岐水産	76		64	48	80



## 島根県での取組事例（島根県立島根中央高校の概要及び地元自治体の支援）

### 1 島根中央高校の概要（平成 29 年 5 月時点）

- (1) 所在地 島根県邑智郡川本町河本 2 2 2 番地
- (2) 学科編成等 普通科 1 学年当たり定員 9 0 名（3 学級）
- (3) 生徒数 2 4 0 名 川本町出身者 5 1 名 県外中学校出身者 8 0 名

※県外中学校出身者内訳

栃木 1、千葉 1、東京 1 3、神奈川 5、静岡 1、愛知 1、京都 2、大阪 1 8、兵庫 2 4  
奈良 3、岡山 1、広島 8、福岡 1、鹿児島 1

#### (4) 主な特色

##### ①授業外学習サポート「進学ゼミ」

「国公立大学・難関私立大学・医学部医学科合格」を目標に本気で勉強に打ち込みたい生徒を対象とした勉強集団。校内に整備された学習ルームを自由に利用できるほか、東京研修や予備校の講習、県外大学のオープンキャンパスなどに後援会の助成を受けて参加。

平成 2 7 年度からは 1、2 年生を対象とした公務員試験対策指導をスタート。外部から講師を招き、平日放課後に定期的に講座を開設。

##### ②地域に貢献できる部活動

全校生徒の部活動加入率は 9 0 % 以上。カヌー部は島根県内に 2 校しかない特色ある部活動で、入学後にカヌーを始めた生徒も全国大会に出場。地域系部活動「しまんー c h u !」は 7 つの文化部部員が集まって地域へ出かけ、それぞれの特技を生かして地域の方々との関わりを深めている。

##### ③ 2 つの学生寮

県が整備した寮に加え、川本町が閉校となった小学校を利用して平成 2 6 年度に整備した「学習交流センター」も寮として活用。

### 2 川本町からの支援（平成 2 8 年度予算）

#### (1) 島根中央高校への支援（2, 181 万円）

##### <支援内容>

学力向上・部活動強化等 480 万円、就学助成 70 万円、情報発信等 235 万円  
スクールバス 963 万円、専任職員等 433 万円

※このうち 750 万円は国特別交付税で措置。

#### (2) 学習交流センター運営事業（3, 160 万円）

県外から島根中央高校へ入学する生徒の生活する場（寮）であるとともに、空き教室を利用し、民間事業者による配信型学習塾等も開校されるなど「学び」を通じた交流施設である「学習交流センター」を管理する。

##### <主な経費>

運営委託費等 2,383 万円、光熱水道費 498 万円、工事費 125 万円、役務費等 154 万円

【地方創生推進交付金】鳥取県移住定住受入体制整備事業  
 (元気づくり総本部とっとり暮らし支援課事業・平成30年度予算要求)

高等学校課作成

鳥取県若者地域定着促進事業費補助金

目的 若者の地域への定着を促進するため、市町村・大学・民間事業者・地域等が連携し空き家等を活用して行う、シェアハウス・ゲストハウスの整備に対する支援を行う。

内容	補助対象	補助率
計画策定支援	シェアハウス、ルームシェア、ゲストハウスの整備により、若者の地域定着を促進するための計画策定への支援	市町村負担額の3分の2(限度限：1事業当たり1,000千円)
シェアハウス等施設整備支援	シェアハウス、ルームシェア、ゲストハウスの整備費等支援	市町村負担額の2分の1(限度限：1事業当たり2,500千円)

(参考)

鳥取県移住定住推進交付金

目的 市町村が取り組む移住定住に係る事業を支援することにより、県外から本県への移住定住を促進する。

内容	交付対象	交付率
移住定住者等への住宅支援	移住者又は空き家所有者等に対する住宅の建築、修繕等	市町村負担額の2分の1(限度額：1戸当たり1,000千円)
空き家活用のための家財道具処分支援	空き家バンク登録物件の家財道具処分等	市町村負担額の2分の1(限度額：1戸当たり400千円)

※通学を目的とした一時的な転居ではなく、通学生徒が家族とともに転居する等、移住定住につながるものを対象としている。